

INCHEM TOKYO 2013 展示会にて用途事例をご紹介します

2013年10月30日～11月1日に東京ビックサイトで行われたINCHEM TOKYO 2013において、当社独自技術により粉末吸着剤をブロック化したブロック吸着材を紹介するとともに、そのアプリケーションとして電子産業向けの高純度薬液や樹脂溶液中の金属不純物の除去等を紹介しました。

写真はINCHEM TOKYO 2013の様子と、関連するポスターです。

当社ブースの様子



関連ポスター

Innovative Filtration Solutions
Quality, Consistency, Performance

粉末吸着材の取扱を改善

当社独自技術により粉末吸着材をブロック化。通常のろ過フィルター同様の取扱いができます。

微細粒子のブロック化で吸着効率、処理スピードを改善

■ アプリケーション

1. 化成産製造プロセス溶液からの酸・アルカリの除去
2. 電子産業で使用する高純度薬液や樹脂溶液中の金属不純物の除去
3. 化成産製造プロセス溶液からの白金、パラジウム、ホウの触媒除去
4. 化成産や溶剤からの水分除去

ブロック吸着材 (開発コンセプト品) によるお客様の課題解決

■ 粉末吸着材取扱い上の課題と、ブロック吸着材による改善提案

1. 粉末吸着材の除去作業が煩雑	⇒ カートリッジと取扱いの簡便
2. 長い吸着処理時間	⇒ 接触・拡散時間が不要
3. 粉末吸着材による作業環境の汚染と健康被害の可能性	⇒ 吸着材をブロック化し少ない粉塵
4. 大規模な吸着設備が必要	⇒ 粉末吸着材をトランプ交換が不要
5. 開放系プロセスによる製品の汚染と、VOCの揮発	⇒ ラインのクローズ化が可能

■ IPA 中からの触媒の除去

■ Pd 濃度 50mg/L の水溶液からの吸着除去効率

住友スリーエム株式会社
フィルター製品事業部

3M